

まったくの初心者でもできちゃいました♪

バイクユーザー車検マニュアル

(長崎陸運支局編)

■ 本マニュアルは車検の中でも、「継続検査」についての手順を説明したものです。

「新規検査」及び「構造等変更検査」には触れておりません。

多くの場合、「継続検査」に該当する方が主だと思いますので、ここでは「継続検査」についてのみ説明していきます。

■ 本マニュアルは私こと管理人が実際に体験したことをベースに作成したものです。

もし本マニュアルの内容を実践する上で、なんらかの不都合が生じても、当方では何の責任も負えませんので、その点あらかじめご了承ください読み進めていってくださいませ。

■ 今回車検を受けたバイクはGSF1200(GV75A)です。

■ なお、本マニュアルの内容の全部または一部を、許諾なしに記事等に転載することは固くお断りします。

<車検前に行っておくべきこと>

初心者の場合、バイクショップで事前に点検してもらうことをお勧めします。

点検してもらう時のコツは車検を受ける 2、3 カ月位前にショップで

「今度車検なので、その時までには交換しておいた方が良い部品はありますか？」と聞いてみるのも一つの手です。

そうすると大抵教えてくれると思いますので、その部分を交換しておくベストです。

自分でメンテや交換ができる方なら、行きつけのショップや、通販などで部品を取り寄せてやってもいいですけどね。

一応「点検整備記録簿」なるものを実際に陸運局で使っている仕様と同じものを作成しましたので、ご利用くださいな。

「点検整備記録簿」→ <http://bikefanlife.blog.bbiq.jp/tennkennseibikirokubo.xls>

※ただし実際の提出用には陸運局に置いてあるものを直接お使いくださいね。あくまでも書式はこうなっているということと、事前に下書き利用する目的で載せてますので。

基本この点検整備記録簿に乗っ取って各部のチェックを行っていくわけですけど、記録簿のチェックに関しては自己責任でお願いしますね。

まあ、管理人の場合主に以下の項目をチェックしていきました。

- 各部清掃
- 各部パーツの劣化や破損がないか？
- 各部灯火ランプ(ヘッドライト、尾灯、ウィンカー等)は点灯するか？
- ブレーキランプ下のリフレクター(反射板)の大きさが10cm²、ウィンカーレンズは7cm²、ブレーキランプは20cm²、番号灯(尾灯)は15cm²あるか？※(注)
- タイヤの摩耗(前後輪とも 1.6mm 以上の溝があれば OK)、空気圧は大丈夫か？
- チェーンの緩みは？(上下 3cm 以上のブレがあるなら調整した方がベスト)
- オイルの劣化の有無は？(色や走行距離で確認)
- ブレーキフルード、クラッチ液の劣化は？(色などで確認)
- ミラーが左右あるか？割れてないか？
- ハンドルグリップの幅が適正値か？(純正パーツなら問題なし)
- マフラーは規定外のものを装着していないか？(車検対応のもの、JMCA とかなら OK)
- 前後のブレーキパッドはまだ溝が残っているか？

※(注):改造車は特にチェックしておきましょう。

こんな感じですね。でもまあそれでも不安が残るようなら、ショップで点検してもらうのが一番いいです。

＜必要なもの＞

事前に電話かインターネットで予約をしておかないといけません。

車検が受けられるのは、車検の期限切れになる一カ月前からです。

長崎運輸支局(中里町)のユーザー車検の予約受付電話番号は 050-5540-2183

ネットでの予約は国土交通省 九州運輸局のサイト

→ <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/car/file02b.htm>

この中のページ下にある「問い合わせ先」予約リンクからできます。

くれぐれも予約番号を忘れないよう必ず控えておいてください。検査当日番号を聞かれます(下4桁だけを管理人は聞かれましたよ)。

次に検査当日に用意しておくもの一覧です。

- ① 自動車検査証(車検証) … 普段バイクに載せてるもの
- ② 自賠責保険証 … **新しく更新したものを用意しておく!**
- ③ 継続検査申請書(OCRシート) … 当日入手
- ④ 自動車重量税納付書 … 当日入手
- ⑤ 自動車検査表 … 当日入手
- ⑥ 点検整備記録簿 … 当日入手
- ⑦ 印紙、証紙 … 当日入手
- ⑧ 自動車税納税証明書(領収証) … 一番新しい年度分一枚だけでOK:役所から送付されてくるもの。紛失した人は再発行してもらいましょう。
- ⑨ 印鑑
- ⑩ 筆記用具(HB以上の鉛筆数本と消しゴム、黒のボールペン)

※ ⑩に関しては受付に用意されているものの、時期によっては混雑も予想されるので持って行った方が安心です。

※ ②に関しては、25か月で保険に加入していてまだ1ヶ月分の期限が残っている場合でも、新たに2年分の保険証が必要なので、両方持っていく必要があります。

※ 本館受付場所とは別に、敷地内(すぐそば)に代書屋さんがいますので、当日入手の書類や印紙などはそこで購入してください。「バイクの継続検査の書類一式をください」と言えばOKです。あと購入の際、車検証の提示が求められます。ここで自動車重量税、自動車検査諸費用、検査用紙代をまとめて払います。

<車検費用>

自賠責保険料 …… 13,640 円(24 か月分)※年ごとに変動あり
自動車重量税 …… 4,400 円
自動車検査諸費用 …… 1,700 円
検査用紙代 …… 70 円
合計 …… **19,810 円**(安すぎです♪)

あと管理人の場合、車検日当日に車検場すぐ近くにある「[東武自動車\(株\)車検予備検査場](#)」ってところで、自賠責保険をかけまして、そこで光軸調整をしてもらうこともあります。

バイクの種類によってはカウルを外さなければ光軸のチェックが出来ない場合もあるので、取り外しに必要な工具も用意しておきましょう。

費用は **500 ~1,000 円** です。なので、してもらう方は上記の金額にプラスしてくださいね。

素人の方はおそらく難しいと思うので、できればここで光軸調整をもらったほうが無難です。もしここで自賠責保険に加入すると 500 円で済みますからお得ですよ。

2 年も経てば意外と軸がぶれているものです。ただし上下方向の調整しかしてもらえません。

その理由は左右方向に関しては、実際の検査時にハンドル操作でカバーしないといけないから、だそうなので。基本左右方向は自分で事前に調整しておくほうが賢明です。ま、調整ネジはヘッドライト前面にありますからね。それ以外の詳しいやり方は後述します。

「[東武自動車\(株\)車検予備検査場](#)」の場所 → 長崎市中里町 1382 (レッドバロン横)

<手順>

受付窓口にて、用意した書類に必要事項を書き込みます。

記入するのは全部で4枚あります。4枚の内3枚は書き方の説明表が受付に置いてあるので、自分の自動車検査証(車検証)を見ながら記入例に倣って記入するだけです。

注意点は鉛筆とボールペンの両方で書き込まないといけないので、それぞれ記入する場所を間違わないようにすること。

それともう1枚は点検整備記録簿なので、事前にチェックしていた項目を書き写してください。

「点検整備記録簿」→ <http://bikefanlife.blog.bbiq.jp/tennkennseibikirokubo.xls>

全ての書類を記入後、記入例に倣って順番通りに重ね、受付に提出し、予約番号を伝えます。

チェックが終わると検査用紙一式をまとめて手渡されるので、それを持って検査ラインのあるところまで、バイクを持っていきます。

路面に行き先が表示してあるので、それに沿って行けばとりあえず大丈夫です。

白線が引いてありますが、確か左から2番目のコースだったかと思います。

入り口で順番がくるまで待機。呼ばれてから中へ入ります。

<検査内容>

バイクの種類によっては順不動かもしれませんが、全体的な流れはおおまか次の通り。

前ブレーキ → スピードメーターの検査 → 後ブレーキ → 光軸検査 → 検査官による外観検査(ハンドルロック、灯火類など)(→ 排ガス検査、騒音チェック)

排ガス検査については平成10年かもしくは平成11年以降に製造されたバイクが対象ですが、検査官によっては検査する人もいます..また、騒音チェックの作業をする人もいますし、しない人もいます。実際に管理人の場合、されちゃいましたね(´▽`;)ゞ

では以下に順を追って説明していきます。

● 前輪ブレーキの検査

検査官の指示に従い、バイクを回転ドラムのあるところまで進め、そこに前輪をのせます。

のせたら、ギヤはニュートラルにします。

ここで検査員の指示がありますので、その通りに従ってください。

バイクがふらふらしないように手足でしっかりとバイクを固定しておきます。

この時ブレーキレバーはまだ握ってはいけませんのでご注意を！

ブレーキかけたままだと回転ドラムが回らないのでね (^_^;)

下の回転ドラムが回り始めて、しばらくしたら検査官が「はい、ブレーキ～」と言ってくるので、すかさずがっしりとブレーキレバーを握りましょう。

これがOKなら、次はスピードメーターの検査です。

● スピードメーターの検査

次に検査官が「スピードが40kmになったら、ホーンを押してください～」と言ってきます。

するとまた下の回転ドラムが回り始めるので、**しっかりとスピードメーターを凝視しておきます。**

この時にも、最初から前輪ブレーキかけてたらダメですよ！

くどいようですが、これだとドラムが回らないので f(^_^;)

初めての人は緊張して、つい無意識にブレーキレバー握ってしまうかもしれませんのでここは要注意なのです。

そしてちょうど40kmのところメーターの針がきたら、すかさずホーンを鳴らします。

これでメーターがきちんと動作しているか確認するわけなんですね。

これがOKなら、次は後輪ブレーキの検査です。

● 後輪ブレーキの検査

指示に従って、バイクを前に少し進め、後輪を回転ドラムにのせます。

そしてギヤはニュートラルにして、今度は前輪ブレーキをしっかりとかけ、バイクを固定します。

もちろんこの時後輪ブレーキはまだかけてはいけませんよ！

そして回転ドラムが回り始めてしばらくして「はい、ブレーキ～」と言ってくるので、ここですかさず**しっかりとブレーキペダルを踏みましょう。**

これがOKなら、今度は光軸検査です。

● 光軸検査

指示に従って、バイクを前に進めます。

白線のところまで、検査官がきちんと誘導してくれますので大丈夫です。

光軸検査はヘッドライトをハイビームにしてから行います。

検査官からきちんと指示があると思いますが、

忘れずにロービームからハイビームに切り替えてください。

すると前方に右から怪しげな装置が登場します。泣く子も黙る、光軸検査機ですね
^_^;

この時、バイクは忘れずにしっかりと固定しておきます。

少しでもふらつくと、正しく検査が行われません。

その検査機の上部にメーターが3種類ほど付いていますので、それらの針を見ながら、中央を指すようにハンドルを微調整します・・というか、本当は見えないようにするかもしれないので、たまたま管理人は見えていたんでクリアしましたけども(´▽`;)ゞ

ここでヘッドライトが一灯式と二灯式の場合があるのですが、二灯式の場合は片方を覆うものが必要のようです。完全に光を遮断できるアイテムが必要です。

まあ厚紙にガムテープがあればいいのかもしれませんが、なんか面倒くさいですね。

まあとりあえずこの検査を乗り切る方法は、あらかじめ左右の光軸を自分で調整し(これは比較的簡単です)、

上下の光軸は車検当日に予備検査場などで調整してもらうのが、一番無難です。

この検査では同時に光量のチェックもしますよ。

それでだめなら諦めてヘッドバルブを交換してしまいましょう。

もし仮に合格を逃しても、その日の内に同じ不合格部分の個所のみを検査を規定回数チャレンジできますので大丈夫です。その際に追加料金を取られることはありません。

これをクリアしたら、次は車体の外観検査と灯火類の検査です。

● 車体の外観検査、灯火類の検査

ヘッドライトのロウとハイの切り替え、前後左右のウィンカー、尾灯、ハンドルロック、ハンドルの幅、ホーンなどの検査を行います。このとき検査官の指示通りにそれぞれの機器類を動かしてください。

それから検査員がハンマーみたいなやつで、バイクのパーツ類(主に金属部分)をカンカンと軽く叩いていきます。傷がつくほどの叩き方ではないのでご安心を。

これは音でナットの緩みや各部パーツの取付状態をチェックしていると思われます。

さすがはプロですねえ～ちゃんとお仕事してます(笑)

● 排ガス検査

これはマフラーの中に検査棒を突っ込んで計測するやつです。

まあ車検対応のマフラーならば問題ないと思います。

あたくしの場合は古いタイプのバイクだったんで、この検査はスルーでした。

● 騒音検査

これはする時としない時があるようで、そこは検査官次第のようです。このテストについては検査官が直接バイクの操作を行うようなので、自分が何をしたらいいのかわからなくてもたぶん心配はいりません。

<無事合格したら>

一連の検査でどこにも異常がなかったら、検査官から検査書類一式を手渡されて出口付近にある窓口に行くように指示されます。ここで印鑑を押されて無事に合格というわけです♪

次はいよいよ検査書類を受取って喜び勇んで受付嬢の所へ GO～♪

検査書類一式を受付で手渡すと、中の方でしばらくお姉さん方が事務作業を行いますので、しばし待機。

この間は、合格の余韻に浸ってください(笑)

しばらくすると名前を呼ばれますので、その時に新しい車検証とナンバープレートに貼るあのシールをもらえます！

終わったあとは安心して帰りましょう♪

もらったシールはお家にでも帰ってから新しく貼り替えちゃいましょう★

余談ですけども、管理人は車検場敷地内でシールを張り替えようと作業していたところ、同じ車検を受けに来ていた業者さんに「その工具貸してくれ～」って言われて、時間を取られたので、検査が終わったらまっすぐ家に帰った方が良いと思いますです(笑)

いまだユーザー車検をしている人となかなか出くわしませんので、業者さんだと思われるのかもしれませんがねえ(´▽`;)♪

<補足事項>

もし万が一、車検当日に検査員に改善箇所を指摘されたら近くに、バイクショップ「レッドバロン」と「南海部品」があるので、必要なパーツ購入や調整をやってもらうことも可能です。

実際管理人の場合、尾灯が切れていたのに気付かずに、その場で即交換してもらった経験がありますよ^^;

なので、ちゃんとして事前のチェックは行っておきましょうね。

あと、昼をまたいで検査をする方は、検査場付近に昼ごはんを食べる場所はいくつかあるみたいなので、ご利用なさってくださいな。

以上で簡単ではありますが、説明を終わります。

では、健闘をお祈りします♪

By 管理人